

新年の

ごあいさつ



桜川市議会議長
増田 昇



桜川市長
中田 裕

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様には、日ごろから市議会に対し温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本経済は、アメリカのサブプライムローンに端を発した、金融破たんやガソリンの高騰、さらには株価の下落などにより、大きく後退いたしました。桜川市においても、これらの不況により経済活動は大きく鈍化し、市民生活に多大な影響を及ぼしました。このことは、市政をつかさどる桜川市にとっても財政基盤である市税などにも、悪影響を及ぼしました。

しかしながら、桜川市においては、桜川筑西IC（チェンジ）の開通・大和中学校の竣工など明るい話題もありました。このインターチェンジの開通をひとつの契機とし、その周辺の土地活用をはかり、地域経済の活性化が見込めるなど、大きな期待を寄せているところです。また、大和中学校の竣工は、地域住民の皆様への長年の心配を払拭し、次代を担う若い世代の育成に大きく貢献し、未来が切り開かれたと申しても過言ではないと存じ

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えますますご健勝のことと心からお慶び申し上げます。

平成17年10月、皆様の大きな夢と期待の中、桜川市が誕生いたしました。早3年の月日が過ぎ去りました。この間、私の政治信念であります「市民が主役のまちづくり」を基本理念に、顔の見える市政、市民の声を聴く市政を推進し、「和と信頼の行政」を目指すとともに「日本一きれいなまちづくり」の実現に向け取り組んでまいりましたが、皆様の心温まるご支援・ご協力により、大過なく市政運営が進められたことに、改めて感謝申し上げます。

今、わが国の経済は、サブプライムローン問題に端を発した国際金融市場の混乱と、米国などの景気後退の影響を受け、急速に悪化しています。

国では、行政改革を推進し、地方への権限移譲を進め、地方自治体の自立が促されています。今後、ますます市町村への権限が増すとともに、各自治体においては「自己決定」と「自己責任」のもと、限られた財源・人材を有効に活用しながら、市

市民の皆様には、日ごろから市議会に対し温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本経済は、アメリカのサブプライムローンに端を発した、金融破たんやガソリンの高騰、さらには株価の下落などにより、大きく後退いたしました。桜川市においても、これらの不況により経済活動は大きく鈍化し、市民生活に多大な影響を及ぼしました。このことは、市政をつかさどる桜川市にとっても財政基盤である市税などにも、悪影響を及ぼしました。

しかしながら、桜川市においては、桜川筑西IC（チェンジ）の開通・大和中学校の竣工など明るい話題もありました。このインターチェンジの開通をひとつの契機とし、その周辺の土地活用をはかり、地域経済の活性化が見込めるなど、大きな期待を寄せているところです。また、大和中学校の竣工は、地域住民の皆様への長年の心配を払拭し、次代を担う若い世代の育成に大きく貢献し、未来が切り開かれたと申しても過言ではないと存じ

民の皆様との協働による「まちづくり」が求められています。

そうした中、本市を取り巻く環境は、大きな変革の時を迎えています。広域交通網の基幹となる北関東自動車道につきましては、昨年4月、念願の桜川筑西IC（チェンジ）がオープンし、さらに、12月20日には、桜川筑西ICと真岡ICまでの区間が開通いたしました。平成23年度には、総延長150kmの全線開通が見込まれており、今後、商業・工業・流通の拠点として、本市活性化の起爆剤とすべく推進してまいります。また、本市においては「伝統と豊かな自然に恵まれた田園文化都市」の建設に向け、様々な事業を展開しております。特に、今年度は、合併時の懸案事項でありました、大和中学校の改築事業に取り組んでまいりましたが、昨年末竣工し、三学期から使用が開始されます。三年生にとりまして、わずかな期間ではありますが、生まれ変わった新しい校舎での思い出の卒業式になるものと思われま

次に、真壁地区の桜川市多目的複合施設建設事業につきましては、真壁中央公民館の老朽化が厳しく、早急な建て替えが急

また、新市建設計画に盛り込まれた事業も、このように順調に展開され、本年度は真壁地区において、多目的複合施設建設がいよいよ本格化し、岩瀬地区においても岩瀬駅跨線歩道橋の建設に着手されるなど、桜川市にとって大きく飛躍の年を迎えようとしております。

しかし、地方自治体の財政状況は、きわめて厳しいものがあります。なお一層の行財政改革を推進し、無駄を省き、効率の高い行政運営が求められております。私も議決機関といたしましては、市民生活の安定向上を第一に、今後さらに創意工夫を重ね、市民の皆様のご期待に応えるよう決意を新たにしております。

どうか本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。新年のご挨拶といたします。

務となっておりませう。昨年からは、地域の方々との話し合いを進めてまいりましたが、平成22年度の竣工に向け推進してまいります。さらに、岩瀬駅南北直貫通路・図書館整備事業・本木バイパス整備の実施に向け、皆様のご協力をいただきながら進めていきたいと考えております。

また、皆様に変な心配をおかけしておりますが、金国病院の問題であります。金国病院の傾向にある地方勤務医の不足から、本院においても診療科の縮小など医療体制が厳しい状況にあります。現在、民間活力を導入し、医師の確保と経営改善を進めておりますが、今後、民間的経営手法を視野に入れながら、よりよい病院経営を目指してまいります。

行財政改革の更なる推進に加え、世界的規模での経済悪化の影響により、地方自治を取巻く状況はますます厳しくなるものと思われませうが、今後とも、職員と一丸となり効率的な市政運営に精進する覚悟であります。

市民の皆様には、更なるご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、ご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。